

ケアマネジメントセミナー

日 時 令和4年5月28日(土)14時00分～16時30分(13時40分～)

場 所 仙台国際センター 2階 大会議室「橘」 ※Zoom 併用

内 容 ①「災害等に備える事業継続計画 (BCP) 策定の指針」14時～14時50分

②「東日本大震災から11年を振り返り、備える」15時～16時30分

講師：森 田 潔 先生 (医療法人尚仁会森田医院院長、気仙沼市医師会会長、
宮城県ケアマネジャー協会会長)

(第1部)「災害等に備える事業継続計画 (BCP) 策定」の講義を受けて感じたこと、思ったこと。
大規模災害時に、平時の取り組みを行おうとしても、難しい場合がある。というのは、もっともだと感じました。BCP 策定に向けて、とても参考になりました。
災害時は災害時の対応、特例措置も必要であることを学んだ。
セミナーを受け、平常時からの備えが必要であることを改めて痛感致しました。ただいまBCP 作成に取り組んでおり、大変参考となりました。
今年度、事業所内でマニュアル作成着手することになっていました。 タイムリーで、宮城県統一マニュアルということでの紹介でしたのでとても、良かったです。 基本マニュアルとして持ち、自分の所属する事業所に則したものにしていきたいと思いました。基本マニュアルを作成していただきありがとうございました。
作成のポイントがわかった
『災害時に役立つ8つの心構え』は、施設にも通じるものがあると感じた。普段からアセスメント力や課題分析力を磨き、地域とのネットワークを構築していけるよう努力していきたい。
BCP 作成義務化に向けまだ猶予はあるとはいえ、災害はいつ起こりえるか分からない。普段からの実践力が緊急時に役立つことを改めて考えさせられた。
計画は計画で、実際に震災になったら役に立つかは分からないが、備えてあって定期的に確認をしていれば、いざ明日震災になっても行動は取れると思われる。沿岸部でも山間部でもないが、被災地としての心構えは必要不可欠である。
3.11 の震災後にも深夜とかに強い地震が何度かあり、その度に居宅としての体制を見直して整えなければと思っていました。が、何をどうすればいいのかと悩みながらも今日に至っていました。コロナ禍の中でも同じでした。本当に先の見えない中でのケアマネジャーとしてやるべきこと、やらなければならないことを模索して焦りばかり感じていました。でも、この研修であらためて、特別なことを新たに始めるのではなく、普段からの意識が大切なことだと気付かされました。ありがとうございました。
災害時に備えてあたらめて何かを準備するという事ではなく、普段の業務が大切であるかという事を気づく事ができた。 災害に遭遇した際、自身で判断する事の責任の重さ、判断した結果を受け入れられるのか、考えさせられる事が多く、災害が起こらない事を願うばかりでした。
BCP 作成中でしたが、協会でもBCP を提示してもらえたので参考にしたい。

<p>普段力を高めることが大事だと分かった。</p>
<p>日ごろから、準備や心構えをしているつもりでも、時間がたつにつれ薄れています。振り返ることで、取り組むことを心がけることができました。</p>
<p>施設併設だと施設利用者が優先されがちでなかなか自分達の担当に関わる事が後回しになってしまいがちになりなるが、講義をうけて難しいと思うが、施設側との関わりが改善するようにしていきたい。 災害時に行動できるためには普段からの準備が必要と改めて考えるいいきっかけになった。</p>
<p>自分の命を守りながら、ケアマネ業務を遂行する：の一言が腑に落ちました。いつも、どのようにするのか、犠牲を払うのが美德のように言われていることが重荷でした。 震災後、介護業から離職した友人知人が多くいて、理由が自分や家族を守ることができなかったと言うことでした。</p>
<p>事業継続計画についてどう考えていけばいいのか分かりやすかった。また、資料をそのまま計画書として活用できることがとても良かった。</p>
<p>災害時に備え、事業所内、法人としてもBPC計画を立てているが、実際に、計画書・マニュアルに沿って行動できるか不安も多い。実際に災害が発生したと想定しての訓練を年1~2回 継続的に実施していくことが大切ではないかと感じました。</p>
<p>優先順位で迷うときがあり、再確認することができ、自分の対応で自信をもって行動できることがわかった。</p>
<p>利用者の普段力について改めてアセスメントの重要性を考える機会になりました</p>
<p>災害の規模に合わせて優先順位を考える必要があると感じた。そのためにも災害マニュアルの作成と普段からの取り決めを行う重要さを知った。</p>
<p>計画を策定する事で不測の事態に備える事ができると痛感しました。人員不足の介護現場で計画通りに実施できるか…不安もあります</p>
<p>どのような考えの基どのように計画を策定しなければならないのか、手詰まっていたところでした。今回の計画を活用し、自事業所でできることを定期的に話し合っていきたいと思いました。</p>
<p>自身が務める場所・住まいが、どんな災害を受けるところか把握しておき、事前に必要な物・事に関係者と相談をして、活用できるマニュアル作成に更新をしておく必要があると思った。経験のない災害は、突然起こるので、最低限必要なことを準備しておくことは必要であると思う。事業所に限らず、地域でも共有できる環境づくりは支援が必要な人にとって、安心できることだと思う。</p>
<p>1時間という時間は短く、もっと詳しくお話を聞きたかったです。 自分の命を一番に考えて行動していいんだということがわかりました。 いざその時になったら自分を優先していいのかどうかと迷うところですが、そのように言ってもらえたことで、ほっとしている自分がいました。</p>
<p>マニュアルがあっても使えなければ意味がない。自分で考え判断できるようしていきたい。</p>
<p>震災直後は緊急時の連絡先等をデータ更新しファイリングしていたが、日々の業務下で疎かになっている部分も出ていた。今回の講義を受け、事業所で改めて計画策定を機会に話し合いを設けることができ振り返りができたことは良かったと感じた。</p>
<p>施設系ではない、居宅としての災害対応の視点とともに、現実的に何が起こり、何を想定すべきかを知る機会となりました。</p>

BCP の策定に困っていましたが、講義で助言を受けた内容を役立てたいと思います。
一人居宅での災害時の対応は困難でいかに近隣の事業所と連携を図り、災害時の支援を実施できるかを話し合う必要があると感じた。
大きい地震があった度に、災害時の対応について話し合っていました。今回、みんなが使える BCP について講義を受け、今後の対応について勉強になりました。ありがとうございました。
改めて平時からの備えが必要だと思いました
BCP の策定はもちろん大事だが、その前に本来の役割であるケアマネジメント業務が、災害時でもできるように、事業所の母体と話し合いをしておくことが必要だと感じた。究極の判断、仕事か（利用者様の命）、自分の命か、どちらを選択しても間違いではないが、考えさせられた。
明日また災害が起こるかもしれない と考えてみる。と話がありました。実際、BCP について検討をしておりましたが、実際には明日起こる。と考えて作成していたとは言えなかったと感じました。特に、「災害時には様々な判断を迫られる。日々自分で考えて判断することが重要となる。」「普段できていることは非常時でもなんとかできる。 普段できていないことは非常時はもっとできない。」「普段力が一番大切」など、の話も改めて事業所内で確認したいと思いました。
ケアマネ教会で BCP の書類を作成していただき、本当にありがたかった。
今回の研修は是非ともお聞きしたかったため、東北（宮城県）に住んでいる者として、当時の震災時の体験を通して様々な課題があったため、そのことを教訓として、今後また起こりうる可能性が高い震災に備えていきたいと強く思いました。震災以外でもどんな災害が起こるのかという常に危機感も持ちながら非常時に備えた対策をより具体的に繰り返し検討する必要性を認識致しました。
事業所で使用できるようにひな形が作成されているのはありがたい。実際に使用できるものになるように作成する必要がある
「明日また震災と同じようなことが起きたら、どう行動するか？」という意識を持つ大切さと震災を経験した県としての気づきという視点は活用したいと感じた。職業倫理と法人内の立ち位置、日ごろからしていないことは非常時に出来るはずがないという言葉を意識すると同時に普段力を高めたいと感じた。
小規模事業所なので、BCP と言われても何をどうすれば？って思っていたので、今回の資料はとても助かりました。ありがとうございます。内陸なので津波は関係なかったですが、震災後一ヶ月は自宅から動けない利用者さんの食料と水の運搬・人工呼吸器の方の電源用のガソリンの確保・自分のガソリンの確保。。当時はまだケアマネではなかったのですが、自分の家はほったらかしで、担当利用者さんの家々を走り回っていました。思い返せばよく倒れなかったなって感じです。動いている間は疲れている暇もなかったのですが、なんとなく色々落ち着いた一年後ぐらいにどっと疲労が出たのを覚えています。最近では災害があるのが当たり前の時代になってきていると感じるので、いざという時に、自分を守りつつ人も支援できるようになりたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の法人内での居宅介護支援従事者の立ち位置の理解を得る種まきの必要性 ・非常時は平時の常識にこだわらず臨機応変の対応（いいんだな、と勇気になった） ・個々人の判断の必要性和尊重（自分の命優先…わかっているけどいざという時の自分はわからないです）

<p>コロナ禍において事業継続のための仕組みづくりに奮闘していたので計画書を作成頂いていたと知り大変助かりました。</p> <p>私は職員の誰かが業務遂行不能になっても、または事務所に行けなくても居宅支援ができる環境を目指しています。</p> <p>なお残念ながら東日本大震災やコロナ禍を経験をもってしても、万が一の準備についてはひとりひとりに温度差があることを痛感しています。「いつ来るかわからないもののために労力を費やすのはどうか、頻度からいって優先順位はそこか」これは実際に職員から出てきたことばです。</p> <p>しかし協会主催で必要性について示して頂けたのであらためて当然の必要な取り組みであることを事業所内で共有できるツールとして活用させていただきます。</p>
<p>災害は時間帯によっても曜日の違いによっても対応できる内容が変わってくると思うがそれを全て想定してマニュアルを作るのはとても難しい。普段力がものを言うと言う話は大いに納得しました。</p>
<p>経過期間があるというが、すぐにでも準備をすすめるべきと思いました。</p>
<p>事業所として方針を策定し全社員で共有し実行に移せる事。</p>
<p>今後の当施設での BCP 作成に大いに役に立つ内容でした。</p>
<p>あらためて「3.11」を思い出し、ケアマネとしての自分、法人の職員としての自分、家庭の中の自分を想定しながら、災害時に備えるには、普段を知っておくことが重要であることを振り返る良い機会となった。</p>
<p>11年前の災害の経験を活かして事業所としての活動内容の確認ができました。研修後、地域の避難場所等の確認をしています。ケアマネとして社会資源の見直しの機会になりました。</p>
<p>現実に災害が起きると考えた準備の必要性を改めて実感しました。</p>
<p>自分の身の安全が第一、自分で判断し行動していくこと大切だと学びました。</p>
<p>この度は県ケアマネジャー協会のセミナーに参加させていただきありがとうございました。</p> <p>BCP を 3 年以内に策定するよう指導があり、何処から手をつければいいのかかわらず途方にくれている所でした。</p> <p>今回資料をご提示いただき、しかも事業所でも使用させて頂けると伺い、心より感謝申し上げます。</p> <p>内容も 11 年前に体験したことを踏まえて、悩み判断に迷う点を説明いただき、霧が晴れました。</p> <p>実際に起きた時はその場で判断を迫られ、その時最善のなすべき事をするしかないと再確認でき、今回のセミナーに参加できてとても良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>実際に災害が起こった際には予測をこえることもあると思いますが、定期的に備えや確認をしておく必要性を感じました。</p>
<p>私は山形県に住んでいます。宮城県と隣接していますが、災害が極端に少なく BCP・BCM への取り組みは今一つ進んでいないと感じています。また、災害時に個人・事業所・組織人として、判断・対応する難しさを痛感しました。『普段力』を含めた 8 つの心構えについて、法人内・市内居宅で検討したいと思います。</p>
<p>全国各地で災害（地震・台風等）が起きており、早急に BCP の策定を行うことの大切さを感じた。</p>
<p>地震などの自然災害に備え、訪問中の場合はどうするか、法人内として役割、地域での役</p>

<p>割、居宅支援事業所の業務の進め方等、多岐にわたって想定し、策定することが必要で、策定して終わりではなく、それをどうやって周知徹底していき、それに基づいて動けるかが課題になっていく。</p> <p>最近では感染症対応が多いが、自然災害はいつ起こるかわからない。感染症、自然災害の同時発生など、最悪の事態を考えての対策が必要。</p>
<p>防火管理者の資格はあるが、災害時に冷静な判断ができるのかは疑問符が付く。平時に出来ないことは災害時は不可能だと思うので、普段から訓練、準備、考える習慣を身につけるようにしたいと思う。</p>
<p>自然災害はいつ発生するか分かりません。常日頃からの心構えと発生した時にどの様に行動するのかをあらかじめシミュレーションしておく大切さを知りました</p>
<p>日頃からの備え、普段からの関りや横のつながりが大事なんだということを振り返りました。</p>
<p>BCP 作成に関する研修を数度受けましたが、ケアマネ 1 人の事業所のため、困難さを感じていました。今回の研修で、胸のつかえが下りました。震災を経験し、あの当時の右往左往を再度思い出しました。通信機器は使用できず、足で動いたこと、アナログでの対応しかできないことを痛感したことを思い出しました。</p>
<p>災害時のケアマネジャーとしての判断や対応について、とても勉強になりました。自身の安全を守りながら優先的に確認をする利用者様等を把握し、その時にできる事をしっかり判断し対応していく事が大切であると感じました。</p>
<p>日頃からの備えの重要性について、改めて必要だと感じました。もし災害が起きたとしたらすぐに災害モードに切り替えて指示を待たずに自分で判断して対応できるようにしたいと思います。時々振り返りを行い備えについて考えることも大事だと思いました。</p>
<p>起こりうる災害を最大限想定し、普段から備えておくことが重要であると感じた。また、非常時には通常時での考えを持ち込まず、非常時のアセスメントを行い、今何が起きているのか、どんな危機がせまっているのか、最優先することは何なのかを考え、自分で判断することも重要であると感じた。</p>
<p>具体的に事業所としてどのような計画を作成して良いかわからなかったなので、ひな形を示していただき、その上事業所名を記入すれば使用でき、人数の居宅介護支援事業所としては講義自体もですが、うれしいプレゼントでした。</p>
<p>改めて、普段からの災害への備えが足りないと感じました。そして、ケアマネがいかに利用者を助けることに携わっているのか考えさせられました。アセスメントや担当者会議でも意識して取り組むことと普段から防災と災害時の対応について事業所内での確認が必要と感じました。</p>
<p>災害にいつ遭遇するか、分からない。事前に想定されることを考えておくことは、いざ、災害に遭遇した時に慌てずに、冷静に判断し対応ができる。</p> <p>事前に動き方をイメージしておくことが重要となる。</p> <p>事業継続計画は、いろんな場面の想定ができるように作成されている。マニュアルばかりに頼らずに判断できるように、普段から様々な関係機関との連携、関係性の構築が重要。</p>
<p>東日本大震災、台風 19 号の被害を受けているので、より現実味を感じながら講義を受けました。使えないマニュアル作成ではなく、実際に使えるマニュアル作成の重要性をより感じました。ケアマネとして、普段のアセスメント「普段力」の大切さを学びました。</p>
<p>日頃からのケアマネジメントのあり方、根拠を持って判断し行動できる力を備えておくことも重要であると感じました。</p>

<p>今回の講義の中で震災の時、ケアマネが非常に難しい判断を迫られる場面があった事を知りました。</p> <p>非常時にはマニュアルだけでなく、しっかりと自分で判断する事の重要性や普段から備えておく必要性を改めて感じました。</p> <p>今後のために普段から関係づくりをはじめとした普段力をつけていきたいと思いました。</p>
<p>BCP は、どのようにして取り組んだらいいのか悩んでいたが、具体的に示されており参考になりました。ケアマネジャーとしてだけではなく、個人として、家族としての立場でも考えていいんだと示してもらえたのがありがたかった。</p>
<p>空論にならないよう具体的に実践則した内容に取り組む必要性ありと感じた。</p>
<p>震災を経験したからこそ備えることの必要性、備えなくても良いもの、備えるべきものがイメージできるんだと思いました。BCP は、早速事業所用として、ダウンロードさせていただきました。誰が見ても分かりやすいもの。使えるものを準備しないといけないと思いました。</p> <p>感染対策も、同じことを繰り返して、対策を身につけたい。</p>

<p>(第2部)「東日本大震災から11年を振り返り、備える」の講義を受けて感じたこと、思ったこと。</p>
<p>水害地域の被害の甚大さを改めて感じました。</p> <p>事業所における災害への備えを確認するの必要を感じました。</p>
<p>参考書などにはない、先生の生の声を聞いて、貴重なお話をいただけたと思う。</p>
<p>大規模災害について、自分たちが経験した大変さを振り返る事が出来ました。平常時の訓練を強化していけるようスタッフ間でも意識を高めていけたらと思います。</p>
<p>11年前を振り返り、当時は包括支援センターに所属しておりました。</p> <p>石巻、東松島、岩沼などに協会よりボランティアにいかせて貰った事を思い出しました。</p> <p>初めて大災害でとにかく目の前のできる事は何なのか、必要としている事は何なのかを考え、指揮を取って下さった協会や応援の方々の指示に従いながら無我夢中で取り組んだ記憶が蘇ってきました。忘れてはいませんが風化してきている自分の感覚を覚えました。</p> <p>津波の映像を見て、やはり何処か心身に残っている違和感が出てきました。振り返ると、とんでもない経験をしたのだと、そしてボランティアに参加できた事はかけがえのない経験だったと改めて思いました。</p>
<p>地元ながら始めて知ることもあり勉強になった</p>
<p>東日本大震災発生時は東京在住であり、宮城県内や市内がどのような状況であったのか実際に体験することができなかったのだが、森田先生の体験談を聞き、また実際に撮影された写真を拝見して、その壮絶さに言葉が出なかった。もしもの時入居者様を守るように、施設の現在の状況に沿ったBCPを策定していきたいと思う。</p>
<p>自分の地域は津波は免れたが、体験談や動画を見るとあらためて震災の怖さをじっかんした。震災後復帰するまでの努力は並大抵ではいけないと思う。他人事と思わずいつ震災が起きても対応できるようにしていきたいと思いました。</p>
<p>自分は沿岸部ではなかったのだからほどの被災ではなかったが、森田先生の映像や写真でご苦労された状況がよくわかった。ネットワークづくり、理解できた。</p>
<p>すみません。緊急事態にて受講できませんでした。</p>

<p>普段からの連携、ネットワークが災害時には大切であると感じる。 横のつながりが自身の地域でもできると良いと感じた。</p>
<p>気仙沼での取り組みや様子が理解できました。</p>
<p>忘れてはいけない。教訓としてあの経験をどう活かすか問われているように思う。</p>
<p>何らかの形で、ネットワークとしてのツールを作成し、共有できるようにしていきたいと思っています。七ヶ浜町は、直営の包括しかなく、ケアマネが頼りになってくると思っています。</p>
<p>それぞれの役割を理解し、関係性を作って災害時に対応できるようにしていきたい。</p>
<p>改めて、おおきな災害だったと実感した。徐々に忘れてしまったり、思い出したくないと言う気持ちがあるように感じている。 忘れることなく、次の災害に向けて備える必要があると思った。</p>
<p>当時、医療機関で経験したことが、今、障害福祉の現場で活かせることができるだろうか と考える機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>震災当時の自分の活動を思い出しながら講義を受けた。備えることの大事さ、日常の活動が災害時にも活かされることはその通りだと思うので今後の業務に活かしていきたいと感じた。</p>
<p>東日本大震災から11年経過する時間の中、自分自身も当時、安否確認、避難所にての福祉の支援者の対応、炊き出し等、電気が復旧するまで、ガソリンも不十分な中、奔走したことを思い起こす良い機会を頂いたと感じました。 実際に組織内の若い世代は、経験していない災害時の対応であり、今後、どのように伝え災害時の行動がとれるように育んでいくか、大変大きな課題を頂いと思います。 自分身を守り、家族の身を守りながら、高齢者支援者としてどこまでできるか IC管理ではない アナログ的に自身の脳がコンピューターに負けない情報を備えておくことも大切だと感じました。</p>
<p>森田先生の活動が地域の福祉を支えていることを感じた。気仙沼での被害も大変で、ご自身の生活もあり、医師としての活動もされて地域の住民の方々としては安心すると思った。</p>
<p>画像を通して震災直後、どのように活動していたか理解でき、今後どのような備えが必要なのかを考える機会になりました</p>
<p>3. 11の記憶が薄れていく中、当時に思い出させる事で、災害の危険さを再認識させられた。</p>
<p>これから起こりうるかもしれない震災。一度体験した経験を活かせる様にスタッフ育成せねばと気持ちを新たにしました。</p>
<p>被災時に業務を継続することがどれくらい大変な事か学ぶことができてよかったです。</p>
<p>日頃からの付き合いがあるからこそ、非常事態のとき、お互い様で協力ができるし、頑張ることもできる。医師が主導で地域発信できることは、素晴らしいことだと思う。現在、経験したことのない災害を見聞きすることも多いように感じる。どこか、他人事ではなく『こんなとき、自分だったら・・・。働く地域だったら・・・』と考えて、事業所内・地域で検討を積み重ねて、備えをしていけたら良いなと思う。</p>
<p>途中、見ることもつらい内容（画像）があり涙が出ましたが、目を背けることなく、事実として教訓として学ばせていただきました。 途中 BGM が大きすぎて、講師の方の話がよく聞こえないことがありました。</p>

<p>大変な時期を改めて思いだした。連携して乗り越えた事を事業所内で再確認していきたい。</p>
<p>居宅は個々で活動しているため、それぞれの安否含めた動きが把握しにくい。震災時の状況を踏まえ、講義後事業所内で話し合いを設けることができた。ガソリンの確保、利用者の優先順位について話し合いを行えた。また、医師を含めた医療連携について日頃からのネットワークづくりが必要であり包括等と一緒に構築していく必要があると感じた。</p>
<p>自分も気仙沼なので、当時を思い出すとともに、当時の先生方のご苦勞をリアルに知る機会となりました。</p>
<p>時間がなく、講義を受けませんでした。</p>
<p>心に残った災害は、いまだに癒える事もなく、前に進むことだけを考えないと生きていけない日々。本当に多くの支援を頂き、医療が過疎となり、薬もないと言う、いまだかつてない災害は、また、予想をはるかに超えるものが起きる可能性もあると考えると、何を備えて、同覚悟すれば良いかを再び投げかけていると思いました。</p>
<p>実際、被災された時のことを聞くことができよかったです。災害時も、多職種の連携は大切だと感じました。ありがとうございました。</p>
<p>互いの職種の役割や、連携のあり方を再確認することができました</p>
<p>地域の多職種との顔の見える関係づくり・ネットワーク構築が、非常時も生かさせる。細やかなマニュアルは安心だが、いざという時に活用できるのは、シンプルなマニュアルかもしれない。臨機応変に活用できるように検討しておく、何ができるか、どこまで連携できるか考えたり、関係づくりをしたりして備えておきたい。</p>
<p>先生のお話を伺い、震災から年月が経っているにもかかわらず、初めて知ったこともたくさんありました。知っていたと思っていた内容も、やはり最前で活動されていた方目線での話を聞くと、見方が変わる部分もたくさんありました。特に印象に残ったのは、「詳細なマニュアルよりシンプルな行動指針」という考え方でした。他にも想定されるような小規模災害のための避難訓練などはあまり意味がないという部分についても、耳が痛いと感じました。</p>
<p>支援団体や勉強会の名前を聞いたことはあったので、何をしていたのかわかり、参加してみたいと感じた。</p>
<p>森田先生のお話しは、映像もあり、当時の震災の様子が思い起こされました。私は、仙台市若林区の事務所でしたが、幸いにも他の施設さんに比べたら被害状況はさほどではありませんでした。沿岸部の皆様の恐怖心や辛さ、これからの生活への不安はいかばかりだったかと思うと心中をお察しするくらいしかできませんでした。だからこそ、「備える」ということの重要性を改めて痛感しました。それと、当時大変だったにも関わらず、医師として、あの当時、人命の救助並びに、震災で犠牲になられたご遺体への検死など、頭が下がる思いで拝見致しました。また、医師との垣根を越えて皆さんがひとつにまとまっていらっしゃることが何よりうらやましいなあと感じてそのことにも、専門職のチームのすばらしさを感じました。</p>
<p>実際の体験を通してBCPに生かして行けるのは強みと感じた</p>
<p>日ごろからのゆるいつながりが、有事に生きるということ。 分厚いマニュアルより、最低限の約束事を共有しておくことの大切さ。 気仙沼はBCPが広がらない、その前に人手が足りないというのは自分の地域も重なる事で振り返りと今後に向けて取り組む際の手がかりとなった。</p>
<p>震災時はデータをパソコン内への保存していましたが、その後、社内のサーバーになり、</p>

<p>今はネットワーク上のクラウド保存になりました。万が一の時は、どこのPCからでもアクセスできる安心感がありますが、その分情報漏洩に気をつけなければならないと感じています。震災時のように、停電が長引けばそれも役立たずなので、電子的保存だけでなく、先生がおっしゃったように、アナログでのデータ保存も必要だと思いました。</p>
<p>逃げずにずっと最前線で働んできた人間のことばと眼差しだと感じた。受講し時間経過しつつも強烈に残っているのは、前触れもなく示された”遺体安置所”の画像だ。正直目を疑った。一度も見慣れた風景ではない。テレビ局のように”これから遺体の映像が映ります””津波の…”の注意喚起のテロップがあって良いレベルだ。そうして欲しい反面、行方不明の誰かを探す人たちは複数の安置所を回っていたから、探し当てるまでの間、いくつもの他人の死顔や臭いや崩れゆくカタチを見て歩いたのだとリアルに想像して、居たたまれない気持ちでいっぱいになった。また安置所とは水揚げされたマグロが並ぶような場所のことだったのかと事実を思い知らされた…。</p> <p>現実には容赦ない、これから災害はもっと危険度を増し増えるとニュースが言っている。こなきやいいと思いつつ来るんだな、と観念して、情報や資料についてアナログ、紙ベースの情報保管方法を考えていく、デジタルデータと併用していく。</p>
<p>あの震災、特に津波被害のあった地域での最前線の支援の詳細を知ることができました。自分、家族、スタッフ、死者、怪我人、行政との調整、制度の運用、十分なものがない中でもあらゆることをこなされていたことにただただ有難い思いで聞いていました。先に経験して下さったことを無駄にしないように、冷静に行動できるよう活用させていただきたいと思いました。</p>
<p>災害の悲惨さを改めて感じました。弊社は山沿いに為津波の怖さは映像で感じていましたが、実際の体験した方にはどんなに、「わかります」と言ったところで本当の事はわかりかねるんだと思いました。あの当時、被災された方が、旅館に多くの方が来た弊社の地域でしたので、本当に忘れてはならないと痛快しました。</p>
<p>常に危険意識を持ちシュミレーションを行い実行に移せる事。</p>
<p>1000年に1度の大地震といわれていますが、次の1000年に1度がすぐに来るかもしれないし、経験した者だからこそ、より具体的で実際に即した備えができるはずだと、改めて思いました。</p>
<p>災害が発生した際、地域の特性を把握し備えておくこと。自分の身は自分で守ること。</p>
<p>研修を終えて、改めて震災の恐怖を思い起こしながら、緊急時の備えを確認しスタッフとも利用者さまの安否確認、包括、各関係事業者との連携を図ること等、伝達を致しました絶対に忘れてはならない事。伝えて行かなくてはいけない事。改めて実感し、またおきると考えた行動が必要だと実感しました。</p>
<p>11年経っても写真や映像をみるとあの時のことを思い出します。あのような経験をしたからこそできること、備えることをしていかなければならないと感じました。</p>
<p>森田先生の講義は心に刺さりました。</p> <p>色々な場所で映像を見たり話を聞いたりすることはありましたが、医師という特別な立場の方のお話は初めてでした。</p> <p>災害時は医師でなければできない事が多く改めて先生方のご苦勞を痛切に感じました。そして森田先生のような理解ある医師がもっと増えてくれる事を願います。</p> <p>森田先生有意義な講義をありがとうございました。</p>
<p>様々な取り組みを伺い、気仙沼全体で医療や福祉が連携しているように感じました。自分自身も多職種に対して垣根をつくるのではなく、利用者自身に目を向けて情報共有や連</p>

<p>携を図れる関係性づくりの大事さを感じました。</p>
<p>会長のバイタリティに敬服しました。そして『気仙沼市医師会災害時初期対応マニュアル』があり、日頃から他職種連携が図られていることに感心しました。私の住んでいる市は、一昨年大きな水害に遭いましたが、被害が一部地地域だったこともあり、一週間程度で何事も無かったように経過しました。市へ災害報告をしましたが『床下浸水が2事業所だけで済んだ』とそれだけでした。自然災害に感心が無ければ、先に感染症の備えを考える等柔軟に対応していきたいと思いました。</p>
<p>実際に東日本大震災の被害を受けており、同じことが起きる可能性も高い。「備え」をしっかり行っていきたいと思う。</p>
<p>最近では電子機器に頼りきりになっていると感じた。職場でもペーパーレスと言われているが、自然災害時はライフラインが止まってしまい、復旧に時間がかかるものだと考え、そのことを想定した備えが必要。震災から11年経過し、あの時大変で困ったことが薄れていっている気がするので、もう一度、起こる可能性のあることを想定してどう対応するかを考えていかなければならない。地域での役割として、できることを考え、備えておく必要がある。</p>
<p>災害時の医療職の活動を確認できた。介護職にとって医療連携は不可欠なので、習って備えをしていきたいと思う。</p>
<p>震災当時、介護保険法が施行されていて良かったとつくづく感じます。あれだけの大地震でケアマネがいるいないでは大きな違いだと感じました。</p>
<p>映像を見て11年前のことを思い出しました。普段の関りや横のつながりを深めていこうと思いました。</p>
<p>震災から10年が過ぎましたが、被災地は未だにその傷跡を抱え、苦しんでいる方がいます。ここ最近も全国的に地震が頻発しています。忘れてはいけない、と強く思います。</p>
<p>震災時は平常時モードの対応ではなく非常時モードに切り替えての対応が重要である事、シンプルなマニュアルやアナログの有効性等、大震災の経験を振り返った貴重な教訓を学ばせていただく事ができました。</p>
<p>被災され働いている方も大変な中でも診療を続けられた貴重な体験談をお聞きすることができたことに感謝したいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>東日本大震災から11年が経過し、ハザードマップも変化している。ゼロからの見直しが必要であると感じた。</p>
<p>震災の当事者として、誰も経験したことのない大震災に立ち向かい地域医療と患者さんの命を守った貴重な経験を聞かせてもらい、そこから得た教訓も学ばせていただきました。ここまでまとまった震災の具体的経験や今後にかす教訓を聞くことは初めてで、リアルな写真もあり時間があっという間に過ぎた感じでした。</p>
<p>当時のことを振り返り、幸いなことに事業所内での犠牲者は出なかったものの、訪問先から帰って来ない職員の安否を気遣い過ごした数日間。心配しながらもやるべきことはあり「何を優先すべきか」考えながら行動したこと。森田先生が話された「仕事を選び好みしない」はまさに非常時には大切なことであると実感して動きました。「ユーモアを持つこと」もとても大切なことで、辛い出来事の中にも笑いがあることで救われたことも沢山ありました。是非、実践したいと思います。</p>
<p>様々な場所で、命を落とされたケアマネジャーの話を知る機会があり、ケアマネジャーとしての役割とは何か。どのような動きが正しいのか。と、その都度考えさせられます。3,11を教訓として、自分の身を守りながら、ケアマネジャーとして今行うべきことを、冷</p>

<p>静に判断しなくてはならない。</p> <p>有事の際の冷静は判断につなげるためには、何を優先にするかを事前に想定し、それぞれがそれぞれの立場で動きを、シミュレーションすることが重要となると思っております。</p>
<p>防災訓練や実践で活用できる備えの大切さを学びました。</p>
<p>震災から学んだことを活かせるよう、振り返り備えること、和とユーモアを大切に動くことが必要と感じました。</p>
<p>実際の震災の映像や被害のあった場所や復興の様子を改めて見る事で、震災の恐ろしさや災害に備える重要性を感じました。</p> <p>普段から準備したネットワークも災害の規模によっては機能しなくなる事も学び、今回の東日本大震災と同等もしくは超える事態を想定した備えをしていく事が大切だと思いました。</p> <p>また第1部の講義でも感じたように普段から顔の見える関係づくりを行っていきたいと思います。</p>
<p>東日本大震災の映像は見ていて辛かった部分があったが、時間が経った今だからこそ振り返れる所もありました。</p>
<p>改めて、すごい事に遭遇した事と、「人」の力の強さを感じた。また、いかに日頃の関係性がいざという時に生きるかと考えた。</p>
<p>第一部と感じたことは一緒です。</p> <p>使えるものを、備えなければと思いました。</p>

<p>その他、感じたこと、思ったこと。</p>
<p>リモートでの参加だったが、不足なく参加できた。</p>
<p>少しずつ、BCP 策定を行っています。災害がいつ起こるか分かりませんので、備品や環境整備など早めに備えていきたいと思います。また訓練にも取り組みたいと思います。</p>
<p>研修、参加できて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>震災が起きようとも感染拡大になろうとも、普段からお互いさま（協力・連携）という気持ちを持って業務に取り組んでいきたいと思いました。</p>
<p>BCP 活用させていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>一人で行っている居宅なので、自分自身も守りつつマネジメントを行うことの難しさを感じています。このような小さい居宅での BCP についてのアドバイスいただければ幸いです。</p>
<p>「BCP 策定」活用させていただきます。大変助かりました。</p>
<p>仕事の自分、家族としての自分、極限の判断を迫られた時自分はどのような行動を取るのだろうかと思う。自分の命は大事。利用者の命も大事究極な判断だと思う。</p>
<p>地域での連携や、情報の共有をすることで補うことができる部分も多くあると思っています。</p>
<p>最近、地震があり、洪水等の被害がある。常に備えると言うことは、大切だと思う。</p>
<p>当時は森田先生のところで勤務していました。開業医の先生方の地域における役割の大きさと大変さを見てきて先生の体調が心配になるほどでした。</p> <p>講演の画像に出ていましたが外で膨大な数の泥だらけのカルテを乾かし手書きで転記する作業や小魚の混じった泥だらけの院内を清掃する作業中は、いつもの通りの診療がで</p>

きるようになるのだろうかと不安な毎日だったことを思い出しました。
今回の研修や資料を事業所内で共有していきたい。
森田先生の基調講演とても良かったです。
災害はいつ起こることかはわかりませんが、いつ起こってもおかしくはないということ を頭のどこかに思いながら生活していかなければならないと思いました。
震災から11年、震災時に職についていなかった職員も入職していることから当時を知る職員を中心に次に生かせるような対応方法や身の守り方など改めて事業所内で確認作業を行っていききたいと思う。今回の講義をきっかけに振り返る機会が作れ本当に良かった。
BCPで事業所単位で策定する内容も、理解できました。早速取り組んでいきたいと思 います。
あの日の事を思い出すと、自分がどのように動き、実施した行動を評価することも難しい くらいの混乱があったように思います。一人では、何もできない事も実感しました。事業 所独自と包括や近隣の居宅等を常時連携が図れる協力隊を作ることが必要と考えた。
最近、自然災害が多くなっている。今回のように、振り返り考える機会があるとよいと 思った。また、他事業所でどのように対応しているか聴く機会があるとよい。
前半、後半を通して振り返ると、これまでの経験を活かし、マニュアルなどを作成するこ とも、想定された範囲の災害に対しては有効だと思いました。しかし、やはり想定を超 えるような災害が起こる可能性もあり、その際には、前半の小湊さんの話に合ったよう に、普段力が物を言う、自分で考えて判断する。などが大変重要になるのだろうと感じま した。そのことが、後半の森田先生の話からも裏付けられる部分がたくさんあったと感 じ、二部構成で話が伺えて大変良かったです。
BCP策定にあたって、宮城県ケアマネ協会の皆様には参考資料を掲載いただき大変あり がとうございました。また、事業所として、会社として、拠点ごとの地域性を盛り込んだ 内容で更に、「使えるBCP」にしていきたいと思います。今回は本当にありがとうございました。
ZOOMは参加しやすく、研修参加のハードルもさがってありがたい
BCPを取り上げて頂けて感謝します。ありがとうございました。
難しいことに直面した時の考え方、捉え方も学ぶことができ、とても有意義でした。小湊 先生、いつもありがとうございます。
今後も色々な研修に参加したいといつも、参加するたびに思います。よろしく願いいた します。
「災害備えるBCP策定の指針」の講義時間が短く、もう少し時間配分を長くっていた だきたかったと感じました。
宮城県ケアマネ協会の研修は毎回とても為になり、日々学びだと実感出来る実務に活き る研修だと感じました。
講師の皆様、事務局の皆様、セミナーを開催していただきありがとうございました。気づ きや振り返りができてよかったです。今後も是非是非、参加させていただきたいです。
今回のようなセミナーをまたお願いします
『普段力』、日頃からの意識・備え・連携が大切だと改めて感じました。また、このこ とを事業所・法人・地域へ繋げなければと思いました。
おおよそのBCP作成を行ったが、新しい情報や工夫など研修から学ぶことは大きい。都

度改善しながら役に立つBCPにしていきたい
居宅ケアマネの責任の重要さを痛烈に感じた。
このような大きい研修を改めて協会が主催すると、たくさんの人が集まることを知った。
宮城県ケアマネ協会の取り組みに深く感謝いたします。宮城県のケアマネで良かった・・・と。今後もケアマネジャーの灯台の明かりとなっていただけると嬉しいです。
普段からアセスメントをしっかり行うことが災害に備えることにもつながると感じました。
今回初めて総会とその後の研修に参加させていただきました。ズームでの参加なので、仙台の会場で聞くのとは違うかと思いますが、体力のない私としては移動の身体的・自館的負担がなく、参加の意思をすぐに決めることができました。当日もゆったりと集中して聞くことができました。今後も会場とズームを併用しての開催を希望します。
「普段、できていることは非常時でもできる」普段力が大切。「なんせ3.11を経験している我々です」がとても印象に残り、活力となる言葉でした。 また、震災を機に医療との連携が取りやすくなり医療との連携連絡票を長い時間をかけて作って下さった森田先生始めケアマネ協会の方にも感謝します。 このセミナーを受けてとても良かったです。企画して下さいありがとうございました。
今、コロナウィルスの対応に日々明け暮れております。避難所が解放されても、避難所で新たな2次被害も想定されることを考えると、不安になります。 3,11後、規模は比べものにはなりませんが、様々な災害が起こっておりますが、政府も行政等の対応がとてもスムーズになったと感じます。 大枠は政府、行政にはなしますが、重要なのは、地域力、自助、共助が重要だと思います。
忘れたところに災害はやってくる、常に予防、防災を業務でも日常でも考えておきたいです。職員や家族と時々話をする時間を持っていたいと思っています。みんなの命を守るために。ありがとうございました。
大変参考になりました。有事の時こそケアマネ力が発揮できるよう、ケアマネジャーとしての持つべき本来の力をつけていく必要があると感じました。ありがとうございました。
貴重な公演ありがとうございました。
時事に合ったタオムリーな研修の企画を今後も期待します。
zoomでの参加でしたが、データだけや机上のものではなく、講義の内容が実践から得たものを伝えていただけたので、とても集中して受けることができました。ありがとうございます